

公益社団法人徳島県看護協会

TOKUSHIMA
NURSING
ASSOCIATION

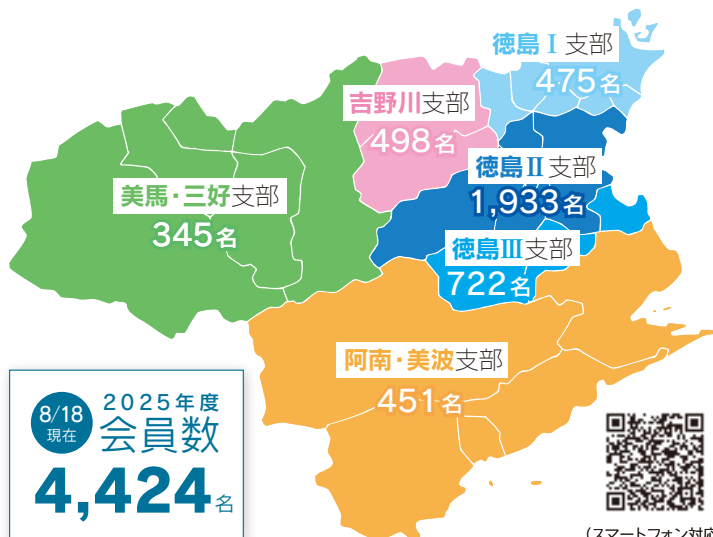
2025.8.31

協会ニュース

No.

112

表紙 写真提供 森山節子様



CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
徳島県看護協会設立45周年記念受賞者	3
令和7年度 徳島県看護協会通常総会	4
2025(令和7)年度 役員・委員名簿	4
令和7年度 日本看護協会通常総会	6
令和7年度 全国職能別交流集会	6
ナースセンターだより	7
アルファ世代看護の魅力アッププロジェクト	7
輝く戦士!! ナースマンに聞く	8
私の趣味	10
ワンポイントアドバイス No.55	10
第41回 徳島県看護学会 お知らせ	10
編集後記	10

会長挨拶

日頃は公益社団法人徳島県看護協会の運営におきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、6月21日に開催されました令和7年度通常総会におきまして会員の皆様にご承認いただき、会長を拝命いたしました。

これまで徳島県における看護職の職能団体として、看護の発展に多大なるご尽力をいただきました、森恭子前会長をはじめ会員の皆様方に深く感謝申し上げます。会長就任から約1か月が経過し、その使命、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。微力ではございますが、事業推進に尽力して参ります。

さて、看護協会の構成は会員で成り立っており、会員の力が看護協会の力です。しかし、徳島県では3年前より減少傾向に転じ、現在（2025年7月15日）の会員数は4,389名です。この傾向が続くと、看護の質の向上をはじめとした事業遂行に支障を及ぼしかねないと危機感を強めております。私たち看護職は、いかなるときでも人々の命と暮らしに寄り添い、その人らしく生活することを支援していかなければなりません。そのためには、看護職が丸となり、組織基盤を安定させる必要があります。

看護協会の組織としての役割は、個人の力だけでは解決できない看護を取り巻く課題を組織の力で解決し、看護を発展させ、社会に貢献することです。一方、会員個人のメリットとしては、例えば、各種研修を会員価格（一日研修の平均所要経費約2万円のところ約4千円）で受講できること、もしもの時の備えとして、会員専用の看護職賠償保険責任保険（年間掛金2,650円、全国17万人が加入）に加入できる等、多くのメリットがあります。一人でも多くの看護職の方々と一緒に看護の発展に力を尽くしたいと願っておりますので、ご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

今後、社会環境が厳しさを増す中ではありますが、看護職が誇りとやりがいを持って力を発揮できるように、常に現場の皆様の声に耳を傾け続けてまいります。看護職から信頼され、誇りに思ってもらえるような看護協会にしていきたいと思っていますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



会長 庄野 泰乃

春の叙勲 および 表彰



瑞宝双光章

三木 真澄 様



徳島県表彰

岩本 優子 様



日本看護協会会長表彰

吉永 純子 様



医療功労賞

岡本 理恵 様



公益社団法人徳島県看護協会設立45周年 徳島県知事表彰受賞者 令和7年6月21日



公益社団法人徳島県看護協会設立45周年 協会長表彰受賞者 令和7年6月21日

徳島県看護協会設立45周年記念受賞者

■ 知事表彰

久米 博子 様
石山由紀子 様
久米 宏実 様
庄野まゆみ 様
喜来 浩美 様
梅田 弥生 様

森内 洋美 様
西村久美子 様
佐藤 晴久 様
折村 秀美 様
館 美加 様
上田 美香 様

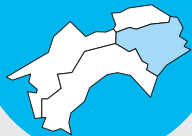
■ 看護協会長表彰

島谷 明美 様
住吉 貴美 様
比松 利江 様
西村三千代 様
岡久 玲子 様
原 美智代 様

勝瀬 昌代 様
宮本 美恵 様
名西 明美 様
浦西 由美 様
岸本小百合 様
早瀬 由美 様

西谷 範子 様
寒川 忍 様
徳永あいこ 様
三ッ川恵美子様
石川早由里 様

令和7年度



公益社団法人 徳島県看護協会

通常総会開催 設立45周年記念表彰式

令和7年

日時 6月21日(土) 9:30~12:30

公益社団法人徳島県看護協会通常総会を令和7年6月21日(土)、徳島大学大塚講堂で開催しました。

今年度も会員の皆様に会場に参集いただき総会を開催することができました。4名の来賓の方々をお招きし、参加者は一般参加者を含めた222名、委任状3,345名、計3,567名となりました。議決事項の第一号議案、令和6年度決算報告(案)及び監査報告、第二号議案、令和7年度役員及び推薦委員の改選並びに令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)、第三号議案、定款変更の説明があり、承認を得ました。報告事項の令和6年度事業報告、令和7年度重点事業並びに事業計画、令和7年度資金収支予算及び収支予算について報告、協議され、議決事項はすべて承認されました。

また、今年度は、徳島県看護協会設立45周年に当たり記念表彰式を執り行いました。徳島県知事表彰12名、徳島県看護協会会長表彰17名の方が受賞され、表彰状及び記念品が授与されました。看護の発展にご尽力いただきました皆様誠にありがとうございました。

令和7年度

重点目標

- 1 全世代型地域包括ケアシステムにおける看護機能の強化
- 2 看護の質向上のための生涯教育の充実
- 3 看護職確保及び働き続けられる勤務環境の改善
- 4 災害や感染症などの健康危機管理体制の強化
- 5 本会の目的を達成するための基盤強化

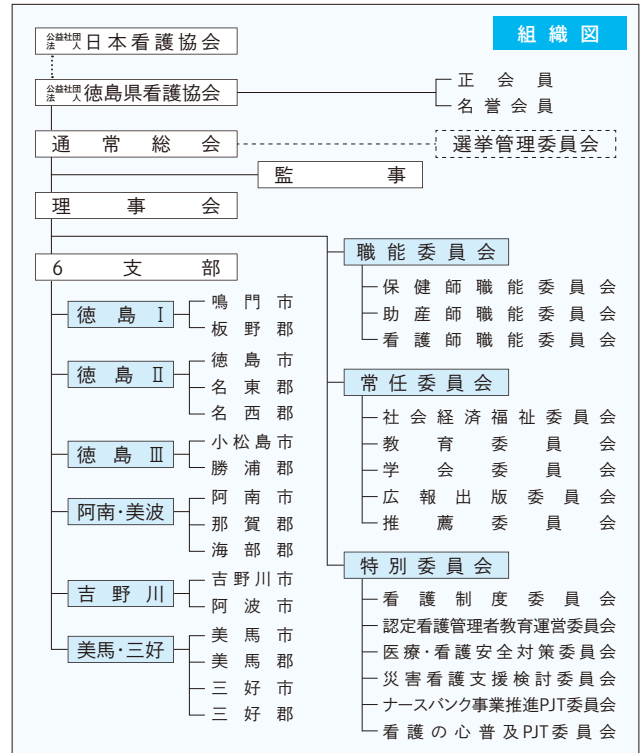
議案

- 第一号議案 令和6年度決算報告(案)及び監査報告
第二号議案 令和7年度役員及び推薦委員の改選並びに令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)
第三号議案 定款変更について

令和8年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

職種	代議員	予備代議員1	予備代議員2
保健師	浦西 由美	岡久 玲子	横山 敦子
助産師	森内 洋美	伊丹 恵美	山田 良恵
看護師Ⅰ	谷崎 宏美	舘 美加	常陸多佳子
看護師Ⅰ	岩本 真理	戸田 伴江	切佐古幸代
看護師Ⅱ	藤原都志子	細川千恵美	横関恵美子
准看護師	富田 浩史	中村 友美	



2025(令和7)年度

役員

役職・職能	氏名	担当委員会名	勤務先
会長	看 庄野泰乃		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	助 鈴記洋子	職能活動総括・学会担当	公益社団法人徳島県看護協会
第二副会長	看 三木真澄	支部活動総括・認定看護管理者教育運営委員会・看護制度委員会	徳島県厚生農業協同組合連合会
専務理事	保 横山敦子	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常務理事	看 鈴木察子	医療・看護安全対策委員会	公益社団法人徳島県看護協会
理事	保 浦西由美	保健師職能委員長	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部〈美波保健所〉
〃	助 森内洋美	助産師職能委員長	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	看 谷崎宏美	看護師職能委員長	徳島市民病院
〃	看 中井幾美	徳島Ⅰ支部長	徳島県鳴門病院
〃	看 岩本尚美	徳島Ⅱ支部長	徳島県立中央病院
〃	看 庄野まゆみ	徳島Ⅲ支部長	徳島赤十字病院
〃	看 舘美加	阿南・美波支部長	JA徳島厚生連阿南医療センター
〃	看 西村久美子	吉野川支部長	JA徳島厚生連阿波病院
〃	看 岸本小百合	美馬・三好支部長	徳島県立三好病院
〃	看 郡利江	広報出版委員会	むつみホスピタル
〃	保 山下留理子	教育委員会	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	看 隅田優子	社会経済福祉委員会	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
〃	准 富田浩史	看護制度委員会	自宅
監事	外部 孝志洋平		さくら税理士法人
	看 美馬敦美		徳島県鳴門病院

職能委員

	氏 名	勤 務 先	
保健師職能委員会	浦西由美	徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部〈美波保健所〉	
	・岡久玲子	徳島大学大学院医歯薬学研究部	
	・高瀬彩水	徳島県東部保健福祉局〈徳島保健所〉	
	村橋文彦	鳴門市健康福祉部長寿介護課	
	黒川久美*	徳島県西部総合県民局 保健福祉環境部〈美馬保健所〉	
助産師職能委員会	加治明子	徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部〈阿南保健所〉	
	・森内洋美	徳島大学大学院医歯薬学研究部	
	伊丹恵美	JA徳島厚生連阿南医療センター	
	・山田良恵	つるぎ町立半田病院	
	住谷志恵*	徳島県立中央病院	
	木田久美子*	JA徳島厚生連吉野川医療センター	
	・榎原嘉那	徳島赤十字病院	
	・村井芳江	徳島市民病院	
	元木沙耶花	徳島県鳴門病院	
	谷崎宏美*	徳島市民病院	
	大西由香	藍里病院	
	看護師職能委員会	・細川千恵美	たまき青空病院
		・岩本真理	徳島赤十字病院
・切佐古幸代		徳島県立三好病院	
辻敬子		きたじま田岡病院	
・和田光代		徳島県立海部病院	
常陸多佳子		独)国立病院機構とくしま医療センター西病院	
・藤原都志子		公益社団法人徳島県看護協会	
横関恵美子		四国大学看護学部	

・印の方はR7、R8年度任期
※印の方は前任者残任期間より

常任委員

職能	氏 名	勤 務 先
社会経済福祉委員会	保 ・増田未来	徳島県東部保健福祉局〈徳島保健所〉
	保 阿部未菜実※	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部〈阿南保健所〉
	助 ・阿部明美	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看 井内裕子	亀 井 病 院
	看 廣瀬千江美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 ・大島直実	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
教育委員会	保 ・堀 美貴	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部〈阿南保健所〉
	保 ・中田華奈	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部〈三好保健所〉
	看 ・河村広美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	助 ・三木章代	四 国 大 学 看 護 学 部
	看 ・阪口 大	徳 島 県 立 中 央 病 院
	助 檉本幸代	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 ・富野静香	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	看 ・佐藤優子	徳島県立総合看護学校第一看護学科
	看 細川美香	徳 島 大 学 病 院
	看 ・川原美穂	徳 島 市 民 病 院
	看 戸田己記	川 島 病 院
	看 橋本浩子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看 小川恵美	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 前川涼子	徳島赤十字ひのみね医療療育センター
	看 ・山岡真由美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 瀬尾秀昭※	T A O K A こ こ ろ の 医 療 セ ン タ ー
学会委員会	保 辻 輝美	徳島県東部保健福祉局〈吉野川保健所〉
	助 ・川下美紀	徳 島 大 学 病 院
	助 ・山田健代	徳島文理大学保健福祉学部
	看 折野早苗	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	看 ・幸木千夏	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 ・飯藤大和	徳島大学大学院医歯薬学研究部
広報出版委員会	看 ・福田ひろみ	徳 島 赤 十 字 病 院
	保 後藤田芽衣	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部〈美馬保健所〉
	保 多田美由貴	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	助 石見依里	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看 室屋昌美	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看 ・高橋英子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
推薦委員会	看 ・角田匡弘	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	看 増田恵里	徳 島 市 民 病 院
	看 ・野田直美	徳 島 赤 十 字 病 院
	保 ミヅ川恵美子	徳島県中央こども女性相談センター
	保 ・久保美春	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部〈三好保健所〉
	助 大下安由美	徳 島 県 立 海 部 病 院
	助 ・森ひとみ	徳 島 大 学 病 院
	看 ・近藤和美	徳 島 市 民 病 院
	看 滝下優子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 ・村尾和恵	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看 ・林 洋子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 木村祐紀	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看 高橋紀子	徳 島 赤 十 字 病 院

6 支部

	支 部 名	支 部 長 名	勤 務 先
支部長	美馬・三好支部	岸本小百合	徳 島 県 立 三 好 病 院
	吉野川支部	・西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	徳島支部Ⅰ	・中井幾美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	徳島支部Ⅱ	・岩本尚美	徳 島 県 立 中 央 病 院
	徳島支部Ⅲ	・庄野まゆみ	徳 島 赤 十 字 病 院
	阿南・美波支部	館 美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

・印の方はR7、R8年度任期
※印の方は前任者残任期間より

特別委員

職能	氏 名	勤 務 先
看護制度委員会	保 多田和代	徳島県保健福祉部医療政策課
	看 藍原美鈴	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 加藤綾子	ぎ た し ま 田 岡 病 院
	看 奥谷恵子	徳島県鳴門病院附属看護専門学校
	看 森 数江	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 三木真澄	徳 島 県 厚 生 農 業 協 同 組 合 連 合 会
	看 清 朋美	藍 里 病 院
	准 富田浩史	自 宅
	看 岩本尚美	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看 早淵由美	徳 島 赤 十 字 病 院
認定看護管理者教育運営委員会	看 池田恵美子	四 国 大 学 看 護 学 部
	看 上田美香	徳 島 大 学 病 院
	看 三木真澄	徳島県厚生農業協同組合連合会
	看 折村秀美	田 岡 病 院
	看 小坂肇代	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 横田三樹	公益社団法人徳島県看護協会
	看 鈴木察子	公益社団法人徳島県看護協会
	看 大坂朱美	徳 島 大 学 病 院
	看 坂田 司	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 尾田由香	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
医療・看護安全対策委員会	看 瀬尾佐和子	徳 島 市 民 病 院
	看 播磨優子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 濱川みさこ	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看 家形美千代	徳 島 県 立 中 央 病 院
	保 山田 愛	徳島県保健福祉部医療政策課
	保 上白川沙織	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	保 横山敦子	公益社団法人徳島県看護協会
	看 逢坂めぐみ	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 岩佐真弓	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 河野共子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
災害看護支援検討委員会	看 上野妃呂子	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看 川西誠子	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 金丸昌史	徳 島 市 民 病 院
	保 多田和代	徳島県保健福祉部医療政策課
	保 横山敦子	公益社団法人徳島県看護協会
	助 四宮洋子	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看 船田美紀	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看 近藤幸子	む つ み ホ ス ビ タ ル
	看 藤田都慕	川 島 病 院
	看 高岡正和	岩 朝 病 院
ナース・事務推進・ロエフ・チム委員会	看 本庄和美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	保 山田 愛	徳島県保健福祉部医療政策課
	保 横山敦子	公益社団法人徳島県看護協会
	看 水田和代	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看 岸本小百合	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看 松浦良里子	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看 中井幾美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看 庄野まゆみ	徳 島 赤 十 字 病 院
	看 本庄和美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看 谷崎宏美	徳 島 市 民 病 院
看護の心普及プロジェクトチーム委員会	看 館 美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

令和7年度



日本看護協会 通常総会

令和7年 6月11日(水) 9:30~17:00

場 所 幕張メッセ(千葉県)

令和7年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

保	浦西 由美	徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部(美波保健所)
助	森内 洋美	徳島大学大学院医歯薬学研究所
看	宮本 美恵	徳島県立中央病院
看	藤原都志子	公益社団法人徳島県看護協会
准	日岡 真代	鴨島病院

日本看護協会通常総会に参加して

日本看護協会は6月11日、令和7年度通常総会を幕張メッセ(千葉県)で開催され、全国から747名の代議員が出席し、1,310名の一般参加があり活発な討議が行われました。

高橋会長の開会あいさつでは、今回公表される「看護の将来ビジョン2040」において、看護提供体制を確保するためには「看護職のウェルビーイングの重要性」を明確に打ち出し、「安全・安心で持続可能な働き方を看護職が率先して改革し、社会をリードしていく存在でありたい」と強調されました。

また、物価高や人材の他産業への流出は医療機関・介護施設・訪問看護事業所などの経営に深刻な影響を与えており、こうした緊急性の高い課題を一刻も早く改善できるよう、引き続き強く国に要望していくと述べました。

議決事項の「名誉会員の推薦(案)」 「2025年度改選役員及び推薦委員の選出について」と4つの報告事項が協議・報告され、議決事項はすべて承認されました。

新たな役員として、会長に秋山智弥氏が第15代会長、新たな常任理事に浅香えみ子氏が選出されました。

令和7年度 全国職能別交流集会

令和7年 6月12日(木) 10:00~15:30

保健師職能委員会

地域への愛着を基盤とした保健師活動の展開

保健師職能委員長 浦西 由美

「地域への愛着」のテーマにて開催された。特別講演「地域の人々とつながり成長していく保健師の魅力」では、漫画『保健師がきた』の作者、桒納タオ氏が保健師の魅力について「保健師の魅力は、地域の人々と伴走しながらその人生に寄り添う仕事。小さな変化や気付きを見逃さず、安心感を与えられることが大きな魅力」とエールを込め話された。

シンポジウム「地域への愛着を基盤とした保健師活動の展開」では、大森純子座長が「地域への愛着は、ソーシャルキャピタルの醸成や地区活動推進のための基盤となる。」と述べた。新人・中堅・ブランチ世代の立場から、保健師活動と地域への愛着形成が相乗的に深化した事例報告があった。新型コロナウイルス感染症5類移行後に住民との関わりが増え、活動の原動力となる愛着が育まれた事例、住民主体の取組みを通して地域愛が深まった事例、困難なケースワークの経験で愛着が醸成された事例が共有された。「地域への愛着」が保健師活動を前進させる合言葉となることを期待すると共に、2040年や災害への備えを見据え、地域を愛する子どもや住民、地域への愛着を持つ関係者の育成の必要性を感じた。今後の保健師職能活動に生かしていきたい。

助産師職能委員会

最新の母子保健政策の動向と助産師の活躍推進

助産師職能委員長 森内 洋美

助産師職能委員会は、分娩の集約化が進む中において、『母子のための地域包括ケア病棟』の4機能(①院内助産・助産師外来、②産科区域特定・産科関連病棟におけるユニットマネジメント、③医療機関における産後ケア事業、④地域連携)を1施設で担うのではなく、地域の医療機関と役割分担・相補しつつ妊産婦等への支援強化に向けた助産師が活躍するための体制や構築・方針が必要となっています。特に産後ケア事業は、令和6年度には約94%の市町村で実施されていると報告され、今後もユニバーサル事業としての展開が必要であると講演がありました。

また、助産師の活躍推進として、オープンシステム・セミオープンシステムでの院内助産・助産師外来の取り組みが紹介されました。その他、兼業・副業を含む助産師の多様で柔軟な働き方、助産師主導のプレコンセプションケアの必要性など、助産師が周産期施設だけでなく地域のニーズに応え専門性を発揮できる機会や仕組みを構築することが求められています。これら母子保健の動向を注視しつつ、地域社会のニーズに応えるためにどのように助産師の専門性を発揮し活躍できるのかを考え活動していきたいです。

看護師職能委員会

看護の将来ビジョン2040年~ともに描く看護の未来~

看護師職能委員長 宮本 美恵

今年度の2025年度全国看護師交流集会I 病院領域では、先の総会で発表された「看護の将来ビジョン2040」に関連して、「2040年に向けて、看護の価値をどうつなぎ、創っていくか」と題した基調講演と、2040年に向けた看護についてシンポジウムが行われました。将来の予測が困難な状況(いわゆるVUCAの時代といわれています)において、看護の原点は変わらないこと、そして看護職の個々の能力を発揮させ、ベクトルを合わせて組織の力にすることに未来の可能性があると語られました。しかし、個々の能力を創造し活かしていくためには、現場の心理的安全性やゆとりある時間や環境も必要であることから、将来ビジョンの中でも看護職一人ひとりのウェルビーイングが重要視されています。

日本看護協会の看護師職能委員会Iの今年度の活動方針は、病院職員に対する暴力・ハラスメントと看護補助者の確保・定着・指示指導についての現状把握と課題発見、そして会員確保に向けた取り組みであると、発表されました。本県の看護師職能委員会も、職場における問題や課題等の情報をお聞きしながら、また全国の好事例等を紹介しながら、情報を上げて参りたいと思いますのでご協力をお願いします。

看護師職能委員会II

魅力ある看護領域であるために

看護師職能副委員長 藤原 都志子

看護領域の重点事業として、訪問看護支援センター設置に取り組み、現在36県で設置されている報告があった。徳島県ではすでに訪問看護支援センターを設置しており、訪問看護の充実と推進を目的として事業を展開している。さらに、看護機能の強化に向けて、地域全体で看護職を育成し人材を共有する考え方への転換の必要性が強調された。また、訪問看護の提供体制強化に向け、有識者会議、訪問看護支援センターの機能強化、効果的な経営支援等の検討、看護機の設置促進に向けたオンラインセミナーの開設、介護保険適応外の在宅療養者を受け入れるモデル事業が報告された。

パネルディスカッションでは「人が集まり定着する」をテーマに、地域の看護職を支援する現場のニーズに応じたテーマ別研修、新人育成のマニュアル整備、メンタルサポート体制の構築、採用・定着の取り組み、看護までの包括的なケアの実践や柔軟な働き方の支援等の発表があった。その中で、組織を超えた地域での連携や人材育成、モチベーション向上のための工夫等の議論が行われた。時代が大きく変わろうとしている現在、時代の変化に応じた柔軟な対応の必要性を実感した。

ナースセンターだより

5月11日(日)「看護の日」イベントを開催しました。

「看護職になるための説明会」と同時開催し、114名の高校生が参加してくれました。

看護技術体験ができてよかったです。



看護職の生の声が聞けて、とても勉強になった。また、家族と話し合ってみようと思った。



たくさんの感想をありがとうございました。



看護職への思いが強くなったイベントでした。

看護職になるための説明会

★「魅力ある看護の道へ」看護職の仕事・進路方法等

★「現役看護職からのメッセージ」

徳島県立三好病院 看護師 富永こころ さん

阿南医療センター 助産師 高橋 瑞妃 さん

美馬保健所 保健師 後藤田芽衣 さん

3年目～5年目の看護師・助産師・保健師の皆さんが、看護職を志した理由や仕事内容、やりがいなどについて発表しました。

看護技術体験コーナー

- ① 採血
- ② 筋肉注射
- ③ 正しい手洗い
- ④ AED(心肺蘇生)
- ⑤ 血圧測定・経皮的酸素飽和度測定

本来看護学校で学ぶようなことが体験できた。



アルファ世代看護の魅力アッププロジェクト

少子高齢化で子ども達の人数が減少し、今後さらに看護職の人材不足が続くことが予想されています。

そこで、徳島県看護協会では今年度からの新規事業として、アルファ世代(2010年以降に生まれた世代)を中心に、看護職を目指す若者をふやすために、小中学校への出前授業を全県的に実施しています。また、「おしごと体験イベント」にも出展しています。

「こどものまち・あい♡あいファミサポフェスティバル」報告

6月14日(土)と6月15日(日)に、あすたむらんど徳島で開催されました。さまざまな職業体験を展開し、その労働の対価としてのお給料を受け取り買い物するまでの体験です。事前に受付をした県内小学校1年生～6年生の方や、飛び入り参加した未就学児等合わせて72名の方が「看護のブース」に参加してくれました。「人を助けよう」のコーナーでは、ボランティア参加してくれた、看護学生さんがAEDや心肺蘇生について、わかりやすく教えてくれました。

「ナースになろうコーナー」では、ユニフォームに着替えて、記念撮影しました。

また、「おしごと体験イベント」を通して、看護職に興味を持ってもらえるように、参加していきます。





テーマ 看護師を志した理由

寄り添える看護師



徳島県立三好病院
網干 綺斗

看護師5年目となり、脳外科と外科の混合病棟で勤務しています。

認知症の祖父が入院したときに急激に症状が悪化し、自宅とは違った姿を目の当たりにしました。落ち込んでいた私たち家族に寄り添い、支えてくれた看護師の姿に「私も誰かのためになる仕事がしたい」と思い看護師を志しました。今の私は、あの看護師のように、患者さんや家族に寄り添うことができているのか?自問自答しながら、看護を行っています。これからも日々の看護を振り返り、患者さんや家族に寄り添い支えとなれるように頑張っていきたいと思います。

私のきっかけ



徳島市民病院
大下 達也

私は、介護福祉士として特別養護老人ホームで働いていました。高齢者と関わる仕事が好きで天職だと思いながら介護を行っていく中、利用者が急変した際に介護福祉士としてできることが少なく歯痒い思いを何度も経験しました。そんな中、同じ職場に勤めている看護師に、看護学校の入学を勧められ、一度しかない人生、チャレンジしてみようと思ふ看護の道へ進もうと決心し、現在に至ります。

卒業して3年目、病棟ナースとして様々な患者のケアを行っています。難しいことも多く、まだまだ半人前ですが、私にしかできない看護を見つけていきたいと思っています。

充実した日々



むつみホスピタル
倉良 時央

看護師5年目になります。母に勧められて気乗りせず選んだ道でしたが、精神科で人の心に寄り添う奥深さとやりがいを知りました。親しみやすい仲間にも恵まれ、仕事終わりに院内のジムで体を動かすこともできて、毎日が充実しています。

幼少期から志した道



徳島赤十字病院
清水 翔太

幼い頃から「困った人を助ける人になりたい」と思っていました。高校時代に医療系に進みたいと考えるようになり、徳島赤十字病院の体験ツアーに参加したことがきっかけで、患者にとって一番身近な存在である看護師を目指そうと決心しました。看護師1年目は様々な部署で経験を積み、2年目は第一希望のICUに配属されました。重症患者が多いICUで疾患や治療内容について日々自己研鑽に励んでいます。超急性期で命だけでなく心も救える看護師になりたいと思っています。

漠然としたきっかけが誇りに変わる



徳島大学病院
牧内 秀太

私が看護師を目指したのは、「なんとなく医療系かな、患者さんに近い仕事がいいな」という漠然とした動機からでした。そんな私が看護師17年目、今では手術看護認定看護師・特定看護師として活動しています。きっかけは些細なものでしたが、今まで続けてこれたのは、手術という患者さんの人生で大きな出来事に携わること、すなわち命の瞬間に立ち会うことに責任と誇りを感じているからです。

今後は、手術看護の魅力を言語化し、積極的に発信していきたいです。

挑戦は空の先に



徳島県立中央病院
宮本 裕己

中学生の頃、ドクターヘリのドキュメンタリーでフライトナースの活動を目にし、感銘を受けました。自分も命の危機に直面した患者さんとご家族の助けになりたいと思い、フライトナースになりたいと思いました。ICUとERを経験し、患者さんとの出会いや先輩方のご指導のおかげでフライトナースになるという夢を叶えることができました。今後も慢心することなく最高の医療と看護を追い求めていきたいと思っています。そして空の先に待っている患者さんのためにこれからも飛び続けていきたいと思っています。



人に頼りにされる看護師を目指して



徳島県鳴門病院
川口 靖弘

私の母親は看護師をしています。看護師は命を預かる仕事であり、社会的にも尊敬される職業なので、私は母親を誇りに思っています。私も人の役に立ちたいと考え看護師の道を志し、現在は、循環器内科病棟で勤務をしています。多職種に働きかけて連携し、患者さんの希望に沿った看護が提供できた際は達成感があります。これからも、患者さんや家族を中心とした看護を提供出来るように努めたいと考えています。

看護師を志したきっかけ



医療法人倚山会
田岡病院
岡本 光一

私は中学生の頃、ドラマ「コード・ブルー」を観たのがきっかけで、漠然と医療の世界に興味を持ち始めました。高校生の時、闘病する母に何もできず、悔しい思いをしたことがきっかけで看護師を志そうと決めました。患者に一番近い存在であり、患者の思いに気づけるのは看護師だと思えます。

現在は、一般外来・ER・カテーテル室で勤務しています。今後も初心を忘れず、その時々最高の看護を提供していきたいと思っています。

幼少期の思い出



阿南医療センター
久米 明之

私が幼少期の頃は体が弱く、風邪や流行していたインフルエンザに罹ったりと休みがちでした。保育園の年長期、肺炎に罹り病院に数日間入院しました。初めての入院で体調も悪く、当時の私は非日常な場所や空間で過ごす時間がとても不安で怖いものでした。そんなときに担当看護師さんは「大丈夫？」や「辛い？ごはんは食べられてる？」「いつも痛いのを我慢できて偉いね」など優しい言葉を多くかけていただき安心感を得ました。次第に体調が回復し、病院食をたくさん食べ退院できました。今となっては良い思い出です。

この経験があるおかげで不安を抱えて入院している患者の気持ちに共感できるようになったと感じています。今後も継続して患者に寄り添えるケアを行い、対応する際に患者が安心感を持てる看護を提供し続けていきたいです。

共に考える看護



藍里病院
清 瑞樹

7年前より看護学校の非常勤講師を務めており、講義科目は精神保健医療福祉の歴史と法律で、精神保健福祉の変遷、現状、地域対策などを教えています。学生の疑問や興味を引き出せるよう、自身が看護の中で考え工夫した関わりや、経験した体験談などを織り交ぜ一方通行的なものではなく共に考える講義を目指しています。講義を通して学生がより看護に興味を抱けるよう日々精進したいです。

男性の強みをいかした看護師を目指して



吉野川医療センター
藤本 徳馬

母・姉が看護師をしており、看護師がすごく身近な存在でした。

僕も人と関わる仕事がしたいという思いがあり、看護師を志しました。学生時代の実習で、男性看護師が力仕事や急変時の対応で活躍していると知りました。男性看護師はまだまだ少数ですが、男性看護師ならではの強みをいかした看護があるのではないかと感じました。現場では性差を感じる事もありますが、人に寄り添い、信頼される看護師を目指して努力していきたいです。

しなやかな心をもって対応したい



社会医療法人川島会
川島病院
吉見 俊司

祖母が入院中に看護師さんにお世話になり、その影響もあってか進路を考えたときに看護師への道を選んでいました。

現在働いている透析看護は、長期に継続的な支援が必要となります。

生活習慣の大幅な変更や、厳格な食事制限からストレスを感じる方、生活背景に問題を抱える方など多様ですが、ストレスから様々な感情を表出される場合もあります。その様な時に適切な対応ができるように、しなやかな心を持つことを心がけています。

私が看護師を志した理由



社会医療法人川島会
川島病院
柳萬 大希

私が看護師を志した理由は母親にあります。私の母親は看護師です。私は母親の勤めていた病院内にある保育施設で育ったことや、母の友人も看護師が多かった為小さい頃から病院や看護師が何かと身近な存在でした。学生の頃ふと自身の将来について考えた際、病院で働くということがイメージしやすく、一番身近であった看護師を目指すようになりました。医療現場で働く今ではこの職種の大変さを実感しており、そんな現場で何年も働いている母を尊敬すると共に自分もそんな看護師になれるように日々努力していきます。

私の趣味

むつみホスピタル 石神 怜加



～わたしのワンダフルライフ～

愛犬と過ごす時間は、私にとって何よりの癒やしです。初めてのわんことの生活がこれほど充実するとは考えてもいませんでした。可愛いわが子のおかげで、散歩やドッグラン、SNSを通して多くの人との繋がりを持つことができました。たくさんの人と交流する中で自分の視野を広げることができ、200文字では表現しきれないほど楽しい日々を送っております。さて、次の休日はどこに遊びに行こうか。



医療安全対策

No.55

ワンポイントアドバイス

患者さんの貴重品取り扱いに注意！



スタッフ間で
情報共有し、時間を決めて
所在確認をしましょう

紛失・破損の可能性が
あるため、貴重品は持参しない
よう説明しましょう



廃棄した可能性がある
場合は、ごみが回収されてしまわない
うちに速やかに対処しましょう

紛失や破損が多いもの

- ・入れ歯
- ・コンタクトレンズ
- ・補聴器
- ・携帯電話
- ・眼鏡

貴重品の取り扱い

- ・名前を書けるものにはフルネームで名前を書きましょう
- ・貴重品がティッシュにくるまれているため、ごみと間違えて廃棄した事例もあります
- ・紛失しやすい小物は透明なケースなどに入れて管理をするのも有効です

入れ歯の取り扱い

- ①入れ歯は紙に包まない
(ゴミと間違えて捨てる恐れがある)
- ②入れ歯専用の容器を確保する(持参または入れ歯入れをつくる)
- ③口腔ケアの後はすぐに所定の場所に戻す
- ④口腔ケア実施中の患者さんは定期的に入れ歯の所在を確認する



第41回 徳島県看護学会 お知らせ

2025年12月13日(土) [会場 徳島大学 大塚講堂] に開催いたします。

インフォメーションブース [広報活動、他学会での発表掲示(発表者選択による質疑応答あり)]、研究相談コーナー [1組30分、6組まで、事前予約制] を企画しております。

事前申込みを9月8日(月)より開始いたします。詳しくは、ホームページに随時掲載いたしますので、ご確認ください。

編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後も皆様が身近に感じる話題を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。(広報出版委員一同)



写真提供 緒方静子様